

公正価値測定及びその開示 ディスカッション・ポイント (2009. 11. 12)

1. プロジェクトの状況

- 8月に論点整理を公表し、10月5日にコメント締切。
- 今般、コメント分析のうえ、コメント対応（案）を作成。

2. ディスカッション・ポイント

コメント対応（案）のうち、次の項目については、公開草案を策定するにあたっての重要な事項であるため、このような方向性でよいか確認したい。

- ① 会計处理的な問題（初日の損益の取扱いや公正価値で測定する負債の範囲など）については本プロジェクトでは取り扱わない。
(コメント#3、16、20、27、48、53)
- ② 企業会計審議会が公表した会計基準、当委員会が公表した会計基準等を中心にスコープ・アセスメント（時価が用いられている会計処理の洗い出し）を行い、当該アセスメントを踏まえ、入口/出口の整理、「時価」から「公正価値」への用語の置換え、その他の基準等の見直しなどを検討する。
(コメント#10、49、50)
- ③ IASBのEDよりもさらに踏み込んだガイダンス等については必要に応じて今後検討する。
(コメント#6、11、13、17、31)
- ④ IASBで再審議を行うとした論点（参照市場など）（審議事項（４）参考資料2参照）については、それを踏まえた検討を行う。
(コメント#8、18、26、52)
- ⑤ 開示項目（レベル3の調整表など）や開示対象（注記で公正価値を開示しているもの）についての取扱いなどについては今後検討する。
(コメント#38～46)

3. 今後の予定

- 9月に公表されたASBJのプロジェクト計画表では、2010年の1Qで公開草案、3Qで最終基準化する予定。
- ただし、10月のIASBのボード会議では、2009年4Qに円卓会議（東京では11/27に開催）を開催の上、2010年1月から5月にEDへのコメントを踏まえた再審議を行い、最終基準化を2010年2Qから3Qへ後ろ倒しすることが決定されている。また、11月5日公表されたIASBとFASBのMOUに関するプレス・リリースでは、FASBも必要に応じてIASBのEDへのコメントを踏まえた公開草案を公表し、その後両ボードで共同で審議のうえ、2010年3Qにそれぞれの基準や改訂を完了することが記載されている。

以上